

対面・オンライン授業のハイブリッド化 による学びのデザイン

—コロナ禍社会における教育活動の省察—



2021.1.25 配信開始 ～2021.2.7

オンデマンドによるオンライン開催

(動画視聴方法等の詳細は、お申込者へ後日連絡いたします。)

参加無料

対象：学校教員、教育委員会関係者、教員養成系大学・学部関係者、学生など

【プログラム】

あいさつ

太田 耕人 (京都教育大学長)

趣旨説明

清村 百合子 (京都教育大学教授)

話題提供

黒田 恭史 (京都教育大学教授)

「教育保障のための情報配信のあり方」

樋口 万太郎 (京都教育大学附属桃山小学校教諭)

「対面・オンラインのハイブリッド型授業の可能性」

植山 俊宏

(教育創生リージョナルセンター機構就職キャリア高度化センター長)

「『先生を“究める” Web 講義』動画コンテンツの活用による教員研修の効果」

講演

高橋 純 (東京学芸大学准教授)

「対面・オンラインのハイブリッド化による学びをどうデザインするか」

パネルディスカッション

「対面・オンラインのハイブリッド化による学びの可能性」

【趣旨】

新型コロナウイルスの感染拡大により、教育界も多大な影響を受け、誰もが経験したことのない教育環境にあり、新たな教育方法の模索が行われている。

そこで今回のフォーラムは、このような社会情勢の中で、いかに教育環境の保障および子どもたちの学力保障をしていくのか、新しい時代に対応した教育方法について考える機会とする。そのためにまず教育保障のための情報配信に関する調査研究の報告を通して、教育現場の現状を把握する。つぎに附属桃山小学校で実践されている、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型授業の成果と課題についての報告、また本学リージョナルセンターが実施している動画コンテンツの活用が教員研修にどのような効果をもたらしているのか、その成果と課題について話題提供する。

講演では ICT 活用による授業づくりに関する研究を推進されている東京学芸大学高橋純氏を講師にお迎えし、今後対面・オンラインによるハイブリッド型授業をどう展開していくべきかについて学術的知見より示唆をいただく予定である。

主催：京都教育大学

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会

〈問い合わせ先〉

京都教育大学研究協力・附属学校支援課

研究協力・センター機構支援グループ

TEL：075-644-8242

E-mail：kueforum@kyokyo-u.ac.jp

〈お申込み方法〉

上記アドレスへ1月15日(金)までにメールをお送りください。

件名を「フォーラム 2020 参加申込」とし、氏名、ふりがな、所属・役職、電話番号を記入ください。

いただいた個人情報は、本フォーラムの運営以外には使用いたしません。

申込みで受付完了とさせていただきます、返信は致しませんのでご了承ください。

